

久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校



集塵機更新 実習環境が改善されます

就職選考が始まりました

9月16日(日)から就職選考が始まりました。今年度は管内の希望者が15名、県外は17名となっています。選考のピークは18日(月)で、就職希望の3年生のうち、15人が受験してきました。その他の生徒も28日までにはほぼ就職選考の受験が終了しました。試験結果の通知も届き始めていて、27日(木)現在で、管内4名、県外9名の就職が内定しました。これからもどんどん吉報が届き、全員の内定が早く決まることを祈っています。

「思春期のコミュニケーション」 1学年保健講話を行いました

9月18日(火)、野田村住民福祉課の保健師中村佳津美さんと久慈保健所の保健師前田史奈さんをお招きして「思春期のコミュニケーション」というテーマで講話をしていただきました。「思春期は心が不安定な時期で、コミュニケーションに悩む時期でもあること」、「対面のコミュニケーションに比べてスマホなどを利用したコミュニケーションは『相手の顔が見えないため、どんな感情で話しているか(書いているか)わかりにくい』『簡単に嘘をつくことができる(相手をだませる)』『SNSの書き込みなどがいじめに発展することがある』などの欠点があること」、「一度、投稿したら誰でも見ることができるし、完全に消すことは不可能であること」などをお話しいただきました。

また、グリー(株)の小木曾健氏が雑誌に寄稿した「正しく怖がるインターネット」の内容も参考になるので、引用します。「インターネットは全て玄関の外側です。スマホもLINEもメールも全て!しかも、何かやらかせば確実に身元がばれる、ネットはそんな場所です。(略)ネットへの投稿は、自宅玄関のドアにベタベタものを貼ったり、書いたりするのと同じ。だから、玄関ドアに貼れるものは、ネットに貼ったり書いたりしてもOK。逆にドアに貼れない、書けないものは、ネットに書かない方がよいのではなくて、『書かない』『書いてはいけない』。だってそれで人生が終わることもあるんですよ。それでもネットに投稿したいものってありますか?」



スマホは便利なコミュニケーションツールですが、危うさ、危険を知った上で、上手に使っていきましょう!

高校ロボット競技大会岩手県選考会

9月23日(日)、花北青雲高校で岩手県高等学校ロボット競技全国大会選考会が行われました。本校からは工学研究部が製作した「ロボタロウ」が参加しました。今年度は、みかんや鯛に見立てた



たテニスボールやメガホンなどを移動し、所定の位置にどれだけを置けるか、という内容でした。本校は80点で参加14台中10位でした。優勝は水沢工業の「雷神」で400点でした。上位4校が全国大会に出場します。来年はこの大会が本校で開催されます

E.T.ロボコン東北大会

9月23日、電子機械科3年の川口君、菱事君、吉田君の3名は、大学や企業のチームに混ざって、盛岡のアイーナで開催されたE.T.ロボコン東北大会に参加しました。指定されたコースで自動制御のロボットを走行させる競技会です。3人が課題研究の時間に製作したロボット「三



陸Kちゃん」は制限時間2分のところ、2分9秒で惜しくもタイムオーバーという結果でした。